

グラビア	地域を支える人・富山県富山市 村井智彦さん 吉村晋治さん 井上雄一郎さん 平井 翼さん	1
発掘!地域の希望のタネ	〈トラットリア アルカ〉岡山県新見市	5
給食のじかん	〈しょうがスープ〉高知県いの町	6
書評	石黒 圭	6
	林博史著『朝鮮戦争 無差別爆撃の出撃基地・日本』菅原敏夫	8
焦点	自動運転レベル4解禁に伴う 自治体への期待と対応	樋笠克士 10

特集

着実な子育て支援にむけて

	まず「子育て罰」をなくしていこう	桜井啓太	18
	自治体が拓いた無償の学校給食時代	中村文夫	25
	兵庫県明石市の子育て支援政策	大岡久典	35
	千葉県流山市の子ども・子育て施策	流山市子ども家庭課 子ども政策室	40
	官民連携による子育て支援住宅 「ハグ・テラス」の取り組み—鹿児島県鹿屋市	段 芳文	47
	地域・企業・自治体の三者でめざす 「こどもを一人にしないまちづくり」	上田日登美	54
特別報告	『保育士の労働実態と労働組合活動に 関する調査報告書』から見えるもの —キーワードは民主的ケアと公共財	萩原久美子	58
自治研活動 レポート	人材育成につながる自治研活動—福島県本部	坂内孝浩	66
地域おこし 協力隊が行く!	第2回 提案型で協力隊員と地域の マッチングが成功の秘訣—兵庫県朝来市	朝来市まちづくり 協働部市民協働課	68
	自治研センターの機関誌案内		16
	次号予告・編集部から		76



『朝鮮戦争 無差別爆撃の出撃基地・日本』 高文研 二七五〇円 林博史 著



この七月二十七日に朝鮮戦争「停戦協定」締結七〇年を迎える。外務省のHPを見ると現在も「横田飛行場に所在する朝鮮国連軍後方司令部には、司令官他三名が常駐」とあるし、「朝鮮国連軍は、我が国内七か所の在日米軍施設（横田飛行場、嘉手納飛行場など）を使用することができる」とある。

さらに「朝鮮国連軍は、現在でも朝鮮半島の平和と安全の保持のため重要な役割を果たしている」とも。朝鮮戦争は終わっていない。平和条約の見通しも立たない。終わっていないばかりか日本も「参戦」したままだし、立場が逆なら、敵基地攻撃能力の攻撃対象にさえなっている。横田、座間、横須賀、嘉手納、普天間……。

横田基地
朝鮮戦争を通して、横田基地から七五三機、嘉手納基地から一万二七四六機のB29を主力とする爆撃機が出撃し、日本の工場で製造されたナパーム弾を投下、朝鮮半島北部の都市、町、村を焼き払ったと本書で明らかにされている。本書には数十枚を超える写真が収録され、すべてに長い番号が打たれている。××FH/4A××。B29の一回ごとの出撃も特定されている。それらは米公文

書館、米空軍歴史研究機構（アラバマ州マックスウェル空軍基地内）の所蔵資料と公開、コロナ禍でのデータ提供に負っているのだという。残念ながら日本の情報公開の本気度は。最近の基地周辺PFAS地下水汚染問題の発端も米情報公開だった。

加害への加担
国際法違反の無差別攻撃、民衆の生活を直接の攻撃目標とした「絞殺」作戦、「圧力ポンプ」作戦、水力発電所への爆撃、灌漑ダム爆撃。

たとえ著者と意見を異にする読者にも、この事実の長い列の意味は圧倒的だ。日本の加害責任、「できる限りの協力」についての議論を続けなければならない。ウクライナ侵攻を目の前にして、かつてが重なる見える。わたしたちがとるべき道は。議論を急ごう。

評者 菅原敏夫 本誌編集委員